＊受理年月日	年　　月　　日
＊受 理 番 号	
＊備　　考	

大規模小売店舗届出書

令和８年１０月１４日

富山県知事　殿

株式会社コメリ
代表取締役　捧　雄一郎
新潟県新潟市南区清水４５０１番地１

大規模小売店舗立地法第５条第１項の規定により、下記のとおり届け出ます。

記

１．大規模小売店舗の名称及び所在地

名　称：(仮称) コメリＰＲＯ有沢店
所在地：富山市高田字大坪割３３番１　外

２　大規模小売店舗において小売業を行う者の氏名又は名称及び住所並びに法人にあっては代表者の氏名

小　売　業　者		住　　所
氏名又は名称	代表者(法人の場合)	
株式会社コメリ	代表取締役　捧　雄一郎	新潟県新潟市南区清水４５０１番地１

３　大規模小売店舗の新設をする日

令和９年６月１５日

４　大規模小売店舗内の店舗面積の合計

１，８４４平方メートル

５　大規模小売店舗の施設の配置に関する事項

(1) 駐車場の位置及び収容台数

駐車場	位　　置	収容台数
来客用駐車場１	建物１南側、東側 (別添 図３建物配置図)	45 台
合　　計		45 台

(2) 駐輪場の位置及び収容台数

駐輪場	位　　置	収容台数
駐輪場１	建物１東側　(別添 図３建物配置図)	5 台
合　　計		5 台

(3) 荷さばき施設の位置及び面積

荷さばき施設	位　　置	面　　積
荷さばき施設１	建物１南側(別添 図４ 建物平面図)	36 ㎡
合　　計		36 ㎡

(4) 廃棄物等の保管施設の位置及び容量(別添 図４建物平面図)

＜廃棄物等保管施設１＞

廃棄物等の保管施設	位　　置	容　　量
紙製廃棄物庫	建物１内南側（別添図４ 建物平面図）	4.284 ㎥
金属製廃棄物庫	建物１内南側（別添図４ 建物平面図）	0.432 ㎥
ガラス製廃棄物庫	建物１内南側（別添図４ 建物平面図）	0.432 ㎥
プラスチック製廃棄物庫	建物１内南側（別添図４ 建物平面図）	4.032 ㎥
生ごみ庫	建物１内南側（別添図４ 建物平面図）	0.720 ㎥
その他可燃性廃棄物庫	建物１内北側（別添図４ 建物平面図）	0.432 ㎥
合　　計		10.332 ㎥

６　大規模小売店舗の施設の運営方法に関する事項

(1) 大規模小売店舗において小売業を行う者の開店時刻及び閉店時刻

小売業者	開店時刻	閉店時刻
株式会社コメリ	午前７時	午後９時

(2) 来客が駐車場を利用することができる時間帯

駐車場	駐車場を利用することができる時間帯
来客用駐車場１	午前６時３０分 から午後９時３０分まで

(3) 駐車場の自動車の出入口の数及び位置

駐車場	出入口の数	出入口の位置
来客用駐車場１	３箇所	敷地南側：出入口２ヶ所 敷地東側：出入口１ヶ所
合　　計	３箇所	

(4) 荷さばき施設において荷さばきを行うことができる時間帯

荷さばき施設	荷さばきを行うことができる時間帯
荷さばき施設１	午前６時から午後９時まで

Ⅲ　添付書類関係（法第５条第２項）

１　法人にあってはその登記事項証明書　別添

２　主として販売する物品の種類

小　売　業　者	主な販売物品
株式会社コメリ	資材、建材、現場用品、工具、金物、住宅設備機器等

３　建物の位置及びその建物内の小売業を行うための店舗の用に供される部分の配置を示す図面

（１）建物配置図　図３　建物配置図　参照

（２）各階平面図　図４　建物平面図　参照

４　必要な駐車場の収容台数を算出するための来客の自動車の台数等の予測の結果及びその他算出根拠

（１）必要駐車台数算出根拠

既存類似店における駐車場利用実態調査に基づき算定した（資料１参照）。

300 人／千㎡×1.844 千㎡×14.4％×98％÷1.9 人／台×0.50＝**21 台**

なお、上記台数に開店時等の繁忙期の来客者増を考慮し、来客用駐車台数を **45 台**とする。

＜参考：必要駐車台数算出根拠＞

設定項目等	各事項算出のための計算式等	
行政人口	399,618 人	令和８年９月末日現在
地区の区分	その他地区	市街化調整区域
Ｓ：店舗面積	1.844 千㎡	
Ａ：店舗面積当たり日来店客数原単位	1,326 人/千㎡	指針(1,400-40×S)
Ｂ：ピーク率	14.4 ％	
Ｌ：駅からの距離	1,700 ｍ	駅名：ＪＲ高山本線婦中鵜坂駅
Ｃ：自動車分担率	65 ％	指針値より
Ｄ：平均乗車人員	2.0 人/台	指針値より
Ｅ：平均駐車時間係数	0.67	(30＋5.5×1.844)／60
必要な駐車場台数	77 台	1,326×1.844×0.144×0.65÷2.0×0.67
届出の駐車場台数	45 台	

（２）その他の駐車場の状況

①従業員等（業務用を含む）駐車場

区　　分	必要駐車台数	備　考 （台数算定根拠等）
従業員駐車場	5台	駐車場１内
堆雪場・臨時駐車場	16台	
商品等の搬出入用駐車場	ー台	荷さばきスペースに含む
合　　計	21台	

（３）その他、参考とした事項

【冬季の堆雪について】

冬季の降雪時については、機械除雪を行い、適時業者委託により敷地外搬出を行う。なお、一時的に建物東側の駐車場内に堆雪場を設置することとなるが、来客用駐車台数が減ることはない。

5　駐車場の自動車の出入口の形式又は来客の自動車の方向別台数の予測の結果等駐車場の自動車の出入口の数及び位置を設定するために必要な事項

（１）駐車場の自動車の出入口の形式

①敷地内駐車待ちスペース

出入口の場所	駐車待ちスペースの有無	実際に用意する駐車待ちスペース	発券ブースの有無	必要な駐車待ちスペース		駐車待ちスペース「無」の場合
				長さ	算出根拠	その理由・対策
別添 図３建物配置図 出入口１～３	有・㊡	―　m	有・㊡	ー42.8m	(0.23×1.6 ー7.5)×6＝ ー42.8m	必要な駐車待ちスペースの長さがマイナスとなるため

※必要な駐車待ちスペース＝（当該入口の１分当たりの来台数(41 台/60 分÷3 箇所)×1.6ー当該入口の１分当たりの入庫処理可能台数）×6m（平均車頭間隔）

（２）来客の自動車の方向別台数の予測の結果

予測方法	半径２ｋｍ圏内の世帯数をもとに、主要経路ごとに来店車両台数を設定。
予測の根拠	別添 資料２参照
予測結果	別添 資料２参照

（３）敷地周辺の道路の状況

図２周辺見取図参照

6　来客の自動車を駐車場に案内する経路及び方法

(1) 来客自動車の案内経路及び経路を来客者に知らせる方法を表示した図面

図２周辺見取図、図３建物配置図参照

(2) 経路等を来客者に知らせる方法

項　目	具体的な方法
案内表示の設置	各出入口に案内板を設置する。 案内表示1～3：出入口案内 案内表示1,2：左折出庫の案内（注意喚起）
ちらしの配布	販売促進用の折込ちらしで案内経路を記載する。
交通整理員の配置	オープン時や日曜祝日などの繁忙期において、駐車場出入口周辺や主要な歩行者動線上に交通整理員を配置する。

7　荷さばき施設において商品の搬出入を行うための自動車の台数及び荷さばきを行う時間帯

荷さばき施設№. (配置図上の№.)	荷さばき施設１	搬出入車両の大きさ及び台数	合　計	平均的な荷さばき処理時間
荷さばきを行う時間帯		４ｔ車		
午前 6時	午前 7時	１台	１台	20分
午前 7時	午前 8時	１台	１台	
午前 8時	午前 9時	１台	１台	
午前 9時	午前10時	―	―	
午前10時	午前11時	―	―	
午前11時	午前12時	―	―	
午前12時	午後 1時	―	―	
午後 1時	午後 2時	―	―	
午後 2時	午後 3時	―	―	
午後 3時	午後 4時	―	―	
午後 4時	午後 5時	―	―	
午後 5時	午後 6時	―	―	
午後 6時	午後 7時	―	―	
午後 7時	午後 8時	１台	１台	
午後 8時	午後 9時	１台	１台	
合　計		５台	５台	―

8　遮音壁を設置する場合にあっては、その位置及び高さを示す図面

遮音壁の有無	高さ	備考（位置等）
無	―	―

9　冷却塔、冷暖房設備の室外機又は送風機を設置する場合にあっては、それらの稼動時間帯及び位置を示す図面（添付図６参照）

項　　目	設置の有無	稼動時間帯	位　　置
空調室外機	有	AC1～AC10：6:30～21:00稼働	図６ 騒音予測条件図 参照
冷凍室外機	無	―	
排風機	有	F1～F11：6:30～21:00稼働 （※F4とF7は24時間稼働）	
キュービクル	有	Q1：24時間稼働	

10　平均的な状況を呈する日における等価騒音レベルの予測の結果及びその算出根拠

（１）昼間の等価騒音レベルの予測

騒音発生源		No.	基準距離における騒音レベル(dB)		騒音継続時間（　時～　時）又は騒音発生回数		予測地点までの距離（m）						各予測地点における等価騒音レベル(dB)					
							A地点	B地点	C地点	D地点	E地点	F地点	A地点	B地点	C地点	D地点	E地点	F地点
定常騒音	空調室外機	AC1	62.0	メーカー資料	6:30～21:00	52200秒	6.1	26.9	36.5	38.0	53.4	83.7	45.9	33.0	30.3	30.0	27.0	23.1
	空調室外機	AC2	62.0	メーカー資料	6:30～21:00	52200秒	5.7	28.0	36.9	37.9	53.6	82.7	46.5	32.6	30.2	30.0	27.0	23.2
	空調室外機	AC3	62.0	メーカー資料	6:30～21:00	52200秒	5.6	29.2	37.4	37.8	53.8	81.7	46.6	32.3	30.1	30.0	27.0	23.3
	空調室外機	AC4	62.0	メーカー資料	6:30～21:00	52200秒	5.7	30.4	37.9	37.8	54.0	80.7	46.5	31.9	30.0	30.0	26.9	23.4
	空調室外機	AC5	46.0	メーカー資料	6:30～21:00	52200秒	6.1	31.6	38.4	37.8	54.2	79.8	29.9	15.6	13.9	14.0	10.9	7.5
	空調室外機	AC6	62.0	メーカー資料	6:30～21:00	52200秒	19.2	14.0	28.0	35.5	46.7	91.5	35.9	38.6	32.6	30.6	28.2	22.3
	空調室外機	AC7	62.0	メーカー資料	6:30～21:00	52200秒	20.0	14.2	26.8	34.4	45.5	91.0	35.6	38.5	33.0	30.8	28.4	22.4
	空調室外機	AC8	62.0	メーカー資料	6:30～21:00	52200秒	20.8	14.5	25.6	33.4	44.3	90.5	35.2	38.3	33.4	31.1	28.6	22.4
	空調室外機	AC9	53.0	メーカー資料	6:30～21:00	52200秒	21.6	14.8	24.4	32.3	43.1	90.0	25.9	29.2	24.8	22.4	19.9	13.5
	空調室外機	AC10	62.0	メーカー資料	6:30～21:00	52200秒	22.5	15.3	23.2	31.3	41.9	89.5	34.5	37.9	34.3	31.7	29.1	22.5
	給排気口	F1	63.5	メーカー資料	6:30～21:00	52200秒	17.4	14.6	30.7	37.6	49.3	92.2	38.3	39.8	33.3	31.6	29.2	23.8
	給排気口	F2	63.5	メーカー資料	6:30～21:00	52200秒	20.2	15.0	26.2	33.6	44.8	90.2	37.0	39.6	34.7	32.5	30.0	24.0
	給排気口	F3	63.5	メーカー資料	6:30～21:00	52200秒	24.8	17.4	20.2	28.6	38.9	87.9	35.2	38.3	37.0	33.9	31.3	24.2
	給排気口(24時間換気)	F4	63.5	メーカー資料	24時間	57600秒	29.8	21.3	14.3	23.9	32.9	86.0	34.0	36.9	40.4	35.9	33.2	24.8
	給排気口	F5	63.5	メーカー資料	6:30～21:00	52200秒	35.2	26.0	8.4	19.9	27.0	84.4	32.1	34.8	44.6	37.1	34.4	24.5
	給排気口	F6	38.5	メーカー資料	6:30～21:00	52200秒	39.2	28.2	4.8	19.5	23.7	85.3	6.2	9.1	24.4	12.3	10.6	0.0
	給排気口(24時間換気)	F7	32.1	メーカー資料	24時間	57600秒	38.9	44.0	19.5	5.9	24.7	64.0	0.0	0.0	6.3	16.7	4.2	0.0
	給排気口	F8	27.5	メーカー資料	6:30～21:00	52200秒	40.7	45.1	19.4	4.6	23.3	63.7	0.0	0.0	1.3	13.8	0.0	0.0
	給排気口	F9	29.5	メーカー資料	6:30～21:00	52200秒	41.2	45.5	19.5	4.3	22.9	63.6	0.0	0.0	3.3	16.4	1.9	0.0
	給排気口	F10	32.1	メーカー資料	6:30～21:00	52200秒	41.8	45.9	19.5	3.9	22.4	63.5	0.0	0.0	5.9	19.9	4.7	0.0
	給排気口	F11	38.5	メーカー資料	6:30～21:00	52200秒	58.1	76.2	55.5	39.3	53.6	28.7	2.8	0.0	3.2	6.2	3.5	8.9
	キュービクル	Q1	54.5	メーカー資料	24時間	57600秒	19.3	12.4	30.1	37.9	48.9	93.7	28.8	32.6	24.9	22.9	20.7	15.1
変動騒音	台車走行音	N1	71.0	指針値	5台×10台×10秒	500秒	43.9	48.4	21.4	5.0	22.3	61.5	17.5	16.7	23.8	36.4	23.4	14.6
	廃棄物収集音（圧縮）	H1	90.0	指針値	1台×10分	600秒	43.9	48.4	21.4	5.0	22.3	61.5	37.3	36.5	43.6	56.2	43.2	34.4
	廃棄物収集音（非圧縮）	H1	85.0	指針値	1台×10分	600秒	43.9	48.4	21.4	5.0	22.3	61.5	32.3	31.5	38.6	51.2	38.2	29.4
	後進ブザー音	B1	90.0	指針値	7台×30秒	210秒	49.2	52.2	22.8	7.3	19.1	61.1	31.8	31.3	38.5	48.4	40.0	29.9
	シャッター開閉音	ST1	70.0	指針値	7台×10秒×開閉	140秒	42.9	47.7	21.2	5.0	22.9	61.7	11.2	10.3	17.3	29.9	16.7	8.1
	自動車走行音	経路1	来客車両84.8dB 大型車両93.4dB	ASJ-Model	小型180台	大型7台	74.7	65.7	33.9	33.1	15.4	82.0	18.1	19.2	25.0	25.2	32.0	17.3
	自動車走行音	経路2			小型69台	大型0台	70.2	58.5	28.0	31.3	12.4	86.9	14.9	16.4	22.8	22.0	30.1	13.2
	自動車走行音	経路3			小型192台	大型7台	68.7	63.9	31.1	25.6	12.6	72.1	21.0	21.6	27.8	29.5	35.4	20.7
	自動車走行音	経路4			小型106台	大型0台	72.6	73.7	41.3	30.1	25.6	58.8	16.5	16.4	21.4	24.2	25.7	18.5
	自動車走行音	経路5			小型184台	大型21台	83.6	85.0	52.5	41.4	35.7	58.7	18.6	18.5	22.6	24.7	26.0	21.7
	自動車走行音	経路6			小型244台	大型0台	66.5	71.8	41.3	26.9	29.6	49.7	19.7	19.0	23.8	27.6	26.6	22.2
	自動車走行音	経路7			小型209台	大型0台	60.6	61.1	29.2	17.5	16.4	61.6	21.3	21.2	27.6	32.4	32.4	21.2
	自動車走行音	経路8			小型216台	大型0台	55.2	59.8	30.1	14.9	22.6	55.3	23.2	22.5	28.5	34.6	31.1	23.4
	自動車走行音	経路9			小型0台	大型14台	63.0	75.9	50.2	33.7	44.0	33.7	24.6	23.1	26.8	30.6	28.1	31.8
	自動車走行音	経路10			小型台	大型台	77.0	95.1	72.1	55.6	66.6	11.1	17.5	15.7	18.1	20.4	18.8	36.1
	自動車走行音	経路11			小型台	大型台	57.7	81.4	66.5	51.7	68.1	29.5	26.3	23.4	25.1	27.3	25.1	34.1
	自動車走行音	経路12			小型台	大型台	48.6	51.7	22.6	6.9	19.4	61.1	18.2	17.7	24.8	35.3	26.4	16.3
衝撃	リフト衝撃音	N1	85.6	指針値	5台×20回	100回	56.8	64.2	35.9	19.9	28.9	48.9	25.1	24.3	31.4	44.0	31.0	22.2
騒音	リフト昇降音	N1	86.1		5台×20回	100回	43.9	48.4	21.4	5.0	22.3	61.5	25.6	24.8	31.9	44.5	31.5	22.7
昼間（午前6時～午後10時）の等価騒音レベル（dB）													53.4	49.0	50.2	58.2	48.0	42.2
地域の類型													C類型	C類型	C類型	C類型	C類型	C類型
環境基準													60	60	60	60	60	60
評　価													適　合	適　合	適　合	適　合	適　合	適　合

予測地点	選定理由
A地点	空調室外機等から発生する騒音の影響把握
B地点	空調室外機等から発生する騒音の影響把握
C地点	給排気口等から発生する騒音の影響把握
D地点	荷さばき作業等から発生する騒音の影響把握
E地点	駐車場内を走行する自動車走行騒音の影響把握
F地点	駐車場出入口を利用する自動車走行騒音の影響把握

（２）夜間の等価騒音レベルの予測

騒音発生源		No.	基準距離における騒音レベル(dB)		騒音継続時間（　時～　時）又は騒音発生回数		予測地点までの距離（m） A地点	B地点	C地点	D地点	E地点	F地点	各予測地点における等価騒音レベル(dB) A地点	B地点	C地点	D地点	E地点	F地点
定常騒音	給排気口(24時間換気)	F4	63.5	メーカー資料	22:00～翌6:00	28800秒	29.8	21.3	14.3	23.9	32.9	86.0	34.0	36.9	40.4	35.9	33.2	24.8
	給排気口(24時間換気)	F7	32.1	メーカー資料	22:00～翌6:00	28800秒	38.9	44.0	19.5	5.9	24.7	64.0	0.3	0.0	6.3	16.7	4.2	0.0
	キュービクル	Q1	54.5	メーカー資料	22:00～翌6:00	28800秒	19.3	12.4	30.1	37.9	48.9	93.7	28.8	32.6	24.9	22.9	20.7	15.1
夜間（午後10時～翌午前6時）の等価騒音レベル（dB）													35.2	38.3	40.5	36.2	33.4	25.3
地域の類型													C類型	C類型	C類型	C類型	C類型	C類型
環境基準													50	50	50	50	50	60
評　価													適　合	適　合	適　合	適　合	適　合	適　合

予測地点	選定理由
A地点	キュービクル等から発生する騒音の影響把握
B地点	キュービクル等から発生する騒音の影響把握
C地点	給排気口から発生する騒音の影響予測
D地点	給排気口から発生する騒音の影響予測
E地点	給排気口から発生する騒音の影響予測
F地点	敷地全体から発生する騒音の影響予測

11　夜間において大規模小売店舗の施設の運営に伴い騒音が発生することが見込まれる場合にあっては、その騒音の発生源ごとの騒音レベルの最大値の予測の結果及びその算出根拠

騒音発生源		No.	基準距離における騒音レベル(dB)		騒音継続時間（　時～　時）又は騒音発生回数		予測地点までの距離（m）			各予測地点における騒音レベルの最大値（dB）		
							b地点	c地点	d地点	b地点	c地点	d地点
定常騒音	給排気口(24時間換気)	F4	63.5	メーカー資料	22:00～翌6:00	28800秒	17.6	14.3	21.6	38.6	40.4	36.8
	給排気口(24時間換気)	F7	32.1	メーカー資料	22:00～24:00	28800秒	39.5	19.4	3.5	-4.4	1.7	16.6
	キュービクル	Q1	54.5	メーカー資料	22:00～24:00	28800秒	2.9	30.1	35.1	45.3	24.9	23.6
夜間(午後10時～午前6:00)の騒音レベルの最大値(dB)										45.3	40.4	36.8
区域の区分										その他区域		
規制基準(dB)										50	50	50
評　価										適合	適合	適合

予測地点	選定理由
b地点	24時間稼働のキュービクル等から発生する騒音の影響を把握する目的で、等価騒音レベル予測地点Ｂ側の敷地境界上に設定した。
c地点	24時間稼働の給排気口から発生する騒音の影響を把握する目的で、等価騒音レベル予測地点Ｃと同一地点に設定した。
d地点	25時間稼働の給排気口から発生する騒音の影響を把握する目的で、等価騒音レベル予測地点Dと同一地点に設定した。

＜予測結果を踏まえた対応について＞

当該大規模小売店舗から発生する騒音について予測を行った結果、等価騒音レベル並びに夜間の時間帯に発生する騒音レベルの最大値について、全ての予測地点において環境基準又は規制基準を満足する結果となった。

なお、以下の騒音対策を講じて、より一層の静穏保持に努める計画とする。

・空調室外機や換気扇等の設備の使用は必要最低限の時間帯とし、維持管理や定期点検活動に取り組むこととする。また、低騒音型機器を採用する。
・駐車場内は不要な段差等をなくし、騒音低減に努める。また、駐車場内に徐行運転の奨励やアイドリングストップ・空ぶかし・不必要なクラクション等の抑制を表示した看板を設置し、騒音低減に努めることとする。
・荷さばき施設の十分なスペース確保により、荷さばき時間の短縮を図る。また、荷さばき車両のアイドリングストップの徹底及び作業員への騒音防止意識の徹底を図る。
・廃棄物収集作業場所に近接して廃棄物保管施設を配置し、作業時間の短縮を図る。また、深夜・早朝の収集作業を行わないとともに、収集業者への騒音抑制意識の向上を働きかける。
・周辺の住民から騒音に係る苦情等が発生した場合には、誠意を持って迅速に対応する。

12　必要な廃棄物等の保管施設の容量を算出するための廃棄物等の排出量等の予測の結果及びその算出根拠

（１）廃棄物等の排出量等の予測

廃棄物種別	店舗面積:S			1日あたり廃棄物排出量 A(原単位×S)		平均保管日数 B 日	見かけ比重 C t/m³	排出予測量 (A×B)／C	届出容量	位置図
紙製廃棄物	6,000㎡以下の部分	1.844	千㎡	0.384	t	1.0	0.10	3.840 ㎥	4.284 ㎥	図4参照
	6,000㎡以上の部分	－	千㎡	－	t					
	計			0.384	t					
金属製廃棄物等	6,000㎡以下の部分	1.844	千㎡	0.013	t	1.0	0.10	0.130 ㎥	0.432 ㎥	
	6,000㎡以上の部分	－	千㎡	－	t					
	計			0.013	t					
ガラス製廃棄物等	6,000㎡以下の部分	1.844	千㎡	0.011	t	1.0	0.10	0.110 ㎥	0.432 ㎥	
	6,000㎡以上の部分	－	千㎡	－	t					
	計			0.011	t					
ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ製廃棄物等	6,000㎡以下の部分	1.844	千㎡	0.037	t	1.0	0.01	3.700 ㎥	4.032 ㎥	
	6,000㎡以上の部分	－	千㎡	－	t					
	計			0.037	t					
生ゴミ等	6,000㎡以下の部分	1.844	千㎡	0.312	t	1.0	0.55	0.567 ㎥	0.720 ㎥	
	6,000㎡以上の部分	－	千㎡	－	t					
	計			0.312	t					
その他の可燃性廃棄物等	6,000㎡以下の部分	1.844	千㎡	0.100	t	1.0	0.38	0.263 ㎥	0.432 ㎥	
	6,000㎡以上の部分	－	千㎡	－	t					
	計			0.100	t					
合　計								8.610 ㎥	10.332 ㎥	

（２）小売店舗以外の併設施設からの廃棄物等の排出量予測（対象施設の計画無）

指針配慮事項

1　駐車場の計画

(1) 駐車場の設置に当たっての配慮

項　　目	具体的な内容
自転車、歩行者等からの動線分離	敷地が比較的狭小であるため、歩行者優先通路等は設置しないものの、建物前面に歩行者用通路を設置して、歩行者の安全確保に取り組む計画とする。 来店車両の速度低減を奨励する看板等を駐車場内に設置する計画とする。
駐車場からの排気ガス	アイドリングストップを奨励する表示を駐車場内に設置する。
近隣居住者への騒音	駐車場内から発生する自動車走行騒音の影響を軽減するため、徐行運転の奨励やアイドリングストップ・空ぶかし・不必要なクラクション等の抑制を表示した看板を設置し、騒音低減に努めることとする。
閉店時間中の駐車場管理方法	閉店時間においては、全ての駐車場出入口をチェーンによって封鎖する。

(2) 交通への支障を回避するための方策等

交通への支障回避の方策	具体的な内容
案内表示の設置	駐車場出入口に出入口を示す案内看板を設置するとともに、多くの来客車両の発生が見込まれる際には交通整理員を配置して、安全で円滑な誘導を行う計画である。（図３参照）
交通整理員の配置	

2　駐輪場の計画

(1) 駐輪場の構造、収用台数及び面積

駐輪場№	駐輪場構造	収用台数	面積
駐輪場１（図３参照）	平面式	5台	11 ㎡
計		5台	11 ㎡

(2) 必要駐輪台数算出根拠

・資料１より、自転車・自動二輪車による来店客は１時間当たり最大で３台程度（資料１の表８、表 12 より）であることより、５台確保する計画で充足すると判断した。なお、店舗開店後に予想を上回る駐輪需要が発生する場合には、必要な手続きを行ったうえで対応する計画である。

(3) 駐輪場の管理体制等の配慮事項

項　　目	具体的な内容
整理員等の配置	営業時間中は、従業員により定期的に見回りを行う。
営業時間外の管理等	営業時間外は、各出入口をチェーンにより封鎖する。

(4) 駐輪場案内の表示方法

駐輪場には、駐輪施設である旨の表示を路面に設置する計画である。

3　荷さばき施設の計画

(1) 荷さばき施設の面積・構造

荷さばき施設No	同時作業の可能な台数		待機スペースの有無・広さ	防音等の対応
	想定する車両の大きさ	台数		
荷さばき施設１	４ｔ車	1	無	作業スペースを広く確保することで迅速な作業に努めます。また、搬入時は徐行運転やアイドリングストップを徹底します。

(2) 搬出入車両専用の出入口の数

専用出入口の有無	搬出入車両専用の出入口の数	対応等
無	―	出入口１と２を利用する計画である。なお、搬入に際しては、徐行運転と安全確認を行うこととする。

4　経路の設定

設置者が行う交通対策等の予定

オープン時や繁忙時等混雑が予想される時は、各駐車場出入口や主要な歩行者通路に案内誘導員を配置し、来客車両の安全確保と円滑な入出庫を誘導する。

5　その他の施設の配置及び運営方法に関する計画

(1) 歩行者の通行の利便の確保等のための計画

項　　目	具体的な内容
歩行者の通行確保のための対策	建物の前面に歩行者通路を確保する。 なお、多くの来客者の来店が見込まれる際には、駐車場出入口や主要な歩行者通路を中心に交通整理員を配置して、安全確保に努めることとする。
夜間照明灯の設置場所	駐車場内に、歩行者・来客車両の通行に必要な照度を確保する目的で適所に照明灯を配置する。

(2) 廃棄物減量化及びリサイクルについての計画

廃棄物減量化及びリサイクル計画の予定及び概要
廃棄物については、基本的にリサイクルを行う業者に引取りを行う計画である。 マイバック持参キャンペーンの実施やレジ袋有料化などにより、レジ袋削減に取組む計画である。

周辺住民への周知方法
店頭風除室内でポスター掲示等により周知を行う計画である。

(3) 防災対策への協力

防災協定等締結の有無	締結協定の内容
無	―

(4) 防犯対策への協力

項目	具体的な内容
建物の死角等に防犯カメラ設備等の設置	建物内に防犯カメラを設置する計画である。なお、店員による見回りを励行し防犯対策に取り組む計画である。
建物の死角等を排除するための照明設備の設置	駐車場内では、車の走行や歩行者等の利用について必要な照度を確保した照明灯を配置する計画である。
閉店時間等の駐車場の施錠及び警備員等による巡回	閉店後は出入口をチェーンにより封鎖する。
警察署との連携を図った緊急通報体制の整備	警備員等による対策を進めるとともに、警察署等の関係機関等と連携・協力に努める。

6　騒音対策

(1) 荷さばき施設及び作業にかかる騒音対策の概要

項目	具体的な騒音対策の内容
荷さばき施設の騒音対策	荷さばき施設の十分なスペースの確保により、荷さばき時間の短縮を図る。
荷さばき作業の騒音対策	荷さばき車両のアイドリングストップの徹底及び作業員への騒音防止意識の徹底を図る。

(2) 屋外におけるＢＧＭ、アナウンス等営業宣伝活動の予定

ＢＧＭ等の使用	有とした場合の騒音対策の内容
無	―

(3) 冷却塔、冷暖房設備の室外機又は送風機等における騒音対策

項　　目	設置台数	騒　音　対　策　等
室外機	10 基	低騒音型機器を採用する。
排風機	11 基	騒音値の低い排風機を設置する。
キュービクル	1 基	敷地境界から離れた場所に設置する。

(4) 駐車場の施設構造と騒音対策の概要

駐車場№	施設面の騒音対策	運用面の騒音対策
来客駐車場１	段差を解消し、定期的な舗装修繕を行う。	営業時間外は出入口をチェーンにより封鎖し、利用制限を実施する。駐車場内に徐行運転の奨励やアイドリングストップ･空ぶかし･不必要なクラクション等の抑制を表示する看板を設置し、騒音低減に努めることとする。また、搬入時には徐行運転を励行する。

(5) 廃棄物収集作業にかかる騒音対策の概要

廃棄物回収場所の構造	回収時間帯	施設面の騒音対策	運用面の騒音対策
屋内	午前７時 ～ 午後４時	収集作業場所に近接して廃棄物保管施設を配置し、作業時間の短縮を図る	深夜・早朝の作業は行わない。収集業者への騒音抑制意識の向上を働きかける。

(6) 緑地帯の設置等、その他の対策

・既存宅地であるため緑地は設置しない計画である。
・室外機等の設備の使用については、必要最小限の時間とし、維持管理や定期点検を実施し、老朽化等に伴う騒音増大化の低減に努める。
・周辺の住民から騒音に係る苦情等が発生した場合には、誠意を持って迅速に対応する。

7　廃棄物等の保管場所の計画

(1) 保管施設の計画

廃棄物等 保管施設№	容　量	面　積	排出方法	洗浄 設備	冷蔵設備等の有無	付属設備 の 概要
1	10.332㎥	5.74㎡	業者委託	無	無	―
計	10.332㎥	5.74㎡	―	―	―	―

(2) リサイクル品（再生利用対象物）保管施設の計画

容量	面積	付属設備の概要	備考	施設位置
―	―	―	―	―

8　廃棄物等の運搬・処理計画

(1) 廃棄物等の処理の区分

分別する廃棄物の種類	敷地内処理	敷地内中間処理	敷地外処理	その他
生ごみ	―	―	○	
紙製廃棄物等	―	―	○	
金属製廃棄物等	―	―	○	
ガラス製廃棄物等	―	―	○	
プラスチック製廃棄物等	―	―	○	
その他可燃性廃棄物等	―	―	○	

(2) 廃棄物等の処理方法

（敷地内処理及び敷地内中間処理は行わない）

(3) 廃棄物等の運搬方法

種　　類	紙　製 廃棄物等	金属製 廃棄物等	ガラス製 廃棄物等	ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ製 廃棄物等	生ごみ等	その他可燃性 廃棄物等
運搬の方法	業者委託					
予定業者等	未定					
運搬の頻度	週７回					
運搬後の処分方法	リサイクル				焼却	

(4) 廃棄物等の減量・リサイクル計画

廃棄物の種類	A＋B 発生予測量 t／年	A ごみ所分量 t／年	B 資源化量 t／年	資源化後の利用方法
紙製廃棄物	140.0	ー	140.0	再生紙等
金属性廃棄物	4.7	ー	4.7	未定
ガラス製廃棄物	4.0	ー	4.0	未定
ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ製廃棄物	13.5	ー	13.5	未定
生ごみ等	113.9	113.9	ー	焼却処分
その他可燃性廃棄物	36.5	36.5	ー	焼却処分
合　　計	312.6	150.4	162.2	

(5) 小売業者等における廃棄物等運搬・処理の方法

（小売業者において運搬・処理は行わない）

(6) 食品加工場計画

（食品加工場は設置しない）

9　街並みづくり等への配慮

(1) 街並みづくり・景観づくり等への配慮事項

駐車場案内看板は統一した構造・デザインとし、建屋についても奇抜な色・デザインは避け、周辺と調和した街並みづくりに配慮する

(2) 夜間の屋外照明・広告塔照明における配慮事項

点灯時間	午後6時頃(冬季は午後5時頃)～午後9時30分まで(来客者が出場するまで)
対　　策	駐車場における照明灯は、敷地外に光が拡散しない向きに設置する。また、看板照明灯は盤面方向に照射し、光の拡散を低減する。なお、営業時間終了後は直ちに消灯し、周辺住環境への影響を低減する。

１０　その他の配慮事項　　【地域貢献の自主的な取り組みについて記載】

項　　目		取組み内容
地域コミュニティへの参加・協力	地域のイベント・活動（祭り、文化・スポーツ、社会貢献 等）への参加・協力（運営参加、場所提供、協賛金 等）	・地元からの要望等を踏まえて対応します。
	地域のボランティア団体、ＮＰＯ等の活動（祭り、文化・スポーツ、社会貢献 等）への参加・協力（運営参加、場所提供、協賛金 等）	
	地域住民・団体の交流スペースの提供（フリースペースの設置、ポスター掲示等の場所提供 等）	
	地域の学校等からの社会見学や体験学習の受け入れ（14 歳の挑戦 等）	
	その他	・従業員に対し、ボランティア活動への積極的な参加を呼びかけます。
地域経済活性化の推進	商工会議所・商工会に加入	
	商店街組織（商店街振興組合、事業協同組合、任意の商店街団体、商店街連盟 等）に加入	
	地産地消の推進（地元産品コーナー設置、ＰＲ 等）	
	県内商業者との取引促進	・富山県内業者との取引を行う予定です。
	県内商業者のテナント入居促進	
	地域の商工団体、商店街、商店との協力・連携（共通ポイント導入、提携セール開催、近隣商工団体との意見交換会開催 等）	・地域の商工団体等が発行する共通商品券等の利用を検討します。
	従業員を地域から雇用	・従業員については、地域からの雇用を優先します。
	その他	・特になし

安全安心なまちづくりへの参加・協力	災害時に避難場所や緊急物資を提供	・災害発生時に、地方自治体等から要請があった場合、避難場所や支援物資の提供を検討します。 ・なお、株式会社コメリでは「NPO 法人コメリ災害対策センター」を設置しており、災害時等における物資提供等を進めていく計画である。
	防災訓練等への参加・協力（地域の防災訓練への参加、消防団活動への参加 等）	・地域の防災訓練への参加など、地域の実情に沿って今後検討します。
	防犯・青少年非行防止対策等への協力（防犯カメラ設置、駐車場の巡回 等）	・従業員による巡回を行います。 ・店内と駐車場方向を撮影する防犯カメラを風除室内に設置します。
	地域の交通安全への協力（交通安全運動への参加、店内放送による交通事故防止啓発 等）	
	公共交通機関の利用促進	
	その他	・特になし
環境対策推進への参加・協力	プラスチックごみなど廃棄物の削減対策（マイバッグ持参推進、簡易包装の実施、リユース商品の販売 等）	・レジ袋有料化を実施し、レジ袋を削減します。 ・お客様に対し、簡易包装を勧めます。
	来客からの資源物の回収・再資源化（トレイ、アルミ缶、牛乳パックの回収 等）	
	食品ロス削減対策（ばら売り・量り売りの実施、納品期限・販売期限の緩和 等）	
	省エネルギー活動（省エネルギー型機器の導入、適切な空調温度設定、節水 等）	・店舗で使用する室外機等は、省エネルギー型機器を採用します。
	敷地内の緑化推進	・今後、敷地内に未利用地ができた場合には敷地内緑化に取り組みます。
	店舗周辺の清掃（ゴミ拾い 等）、美化活動（花植え 等）	・店舗周辺での定期的なゴミ拾いを実施します。
	その他	・特になし

共生社会等への配慮	店舗・駐車場等のユニバーサルデザインの導入	・店舗はユニバーサルデザインを取り入れた設計とします。
	高齢者や障害者の雇用促進	
	その他	・中途採用に積極的に取り組みます。
撤退時の配慮	早期に地域の関係先へ情報提供	・早期に地域の関係先へ情報提供を行います。
	後継店舗の確保や従業員の再就職先支援	・地域住民の買い物の利便性の低下を極力抑えるため、後継店舗の確保に努めます。 ・従業員の再就職支援を行います。
	店舗閉鎖に伴う環境悪化を防止するための建物等の管理	・店舗閉鎖時は、建物等の管理に十分留意します。
	その他	・特になし
その他	・特になし	